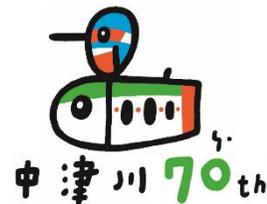




中津川市DX推進計画 概要版



中津川市DX推進計画では、「住民を中心に考えること」を第一とし、多様な生活スタイルに寄り添える地域社会の実現を図ることを目的とし、「人々がかがやくまち中津川」をめざします。

<社会の情勢・国の方針>

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズにあったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人残さない、人にやさしいデジタル化～の実現をめざす方針となっています。

- 地方自治体が提供する行政サービスを、**デジタル技術やデータの活用**により、住民の利便性を向上させること。
- **デジタル技術やAI**等の活用で業務効率化を図り、職員の行政サービスにおける質の向上につなげること。

<中津川市の方針>

社会的な労働人口の減少を受け、市役所の労働力低下が起こりうることを想定し、住民サービスを低下させることなく、市政運営を進めるためにDXを推進します。

- 国が進める**情報システムの標準化・共通化**を進めます。
- 行政手続きのオンライン化等による、**住民の利便性向上**を実現します。
- RPA等デジタル技術の活用による**業務の効率化**を進めます。
- **デジタル・ディバイド対策**を進めます。

DX計画の重点取り組み

行政手続きのオンライン化

デジタル技術の急速な進歩・新型コロナウイルス感染症対策など、時代に合わせたサービスの提供が必要です。住民の利便性を図るため、「いつでもどこでも」行政手続きができるオンライン化の導入が有効です。

- 書面、押印、対面の見直し：各種申請書類の**押印・添付書類の要否を見直し**、オンライン化を見据えたルール作りを進めます。
- オンライン手続きの選定：国が進めるDX計画に足並みを揃え、**特に利便性向上に資する手続きのオンライン化**を進めます。
- キャッシュレス決済の導入：本人確認・手数料の納付が、**一貫してデジタルで完結**する仕組みの導入を進めます。
- スマホ、タブレット教室：デジタル技術に不慣れな高齢者向けに開催し、**情報格差の解消**を進めます。

主要20業務の標準化

各自治体で運用・管理しているシステムを、国が定めた**標準仕様に準拠したシステム**へ移行することで、住民サービス向上・管理コスト低減を図ります。

住民基本台帳、戸籍、戸籍の附票、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、印鑑登録、選挙人名簿管理、子ども・子育て支援、就学、児童手当、児童扶養手当、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、生活保護、健康管理

職員の業務効率化

市役所の労働力を職員だからこそできる住民サービスとして集約し、持続可能な形でサービスの提供ができるよう**ICTの活用**による業務の効率化を進めます。

- RPAによる業務の自動化
- AI議事録作成システム・AI-OCRの活用
- 職員のデジタル技術育成・ジョブローテーション

推進体制

DXを進めるため、「中津川市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進委員会」を設置し、全庁あげてDXに取り組みます

DX推進委員会

委員長：副市長
(計画の承認・進捗管理)

事務局
(情報政策課)

DX活用検討部会

部会長：総務部長
(施策全体に関する協議・検討)

行政手続オンライン化
分科会

システム標準化・共通化
分科会

ICT活用推進
分科会

中津川市 各分野におけるデジタル活用の取組推進

🎪 観光・文化 🎪

🎪 観光

一点立ち寄り型観光から脱却し、「持続可能な観光地づくり」と「観光地産業の確立」を実現します。

- WebアンケートやSNS(Instagram、Youtube等)の閲覧分析を活用した、**プロモーションを強化**します。
- **観光事業者のデジタル化**への取組みを支援し、観光商品のオンライン販売等を推進します。
- 観光協会関連組織の支援・人材育成等により、観光推進体制を強化します。

🎪 文化

デジタル技術を活用し、文化への魅力、学びのきっかけを発信します。資料調査・研究に寄与し、利便性向上・業務効率化を図ります。

- 埋蔵文化財包蔵地等確認申請をオンライン化します。
- 博物館収蔵品・資料の5割以上を**デジタルアーカイブ化**します。
- **学芸員による収蔵品紹介や小中高アウトリーチ授業**をリモートで10件以上実施します。(～R10年度)
- 図書館に**ICタグ読込型セルフ貸出機・セルフ返却機**を導入します。(～R5年度)
- 文化施設等のオンライン予約を導入します。(～R6年度)

🛡️ 福祉 🛡️

🛡️ 高齢者福祉

高齢者にデジタル機器・オンラインに慣れてもらうことで、高齢者の孤立を防ぎ、介護予防を進めます。

- 高齢者向けの**スマホ教室を開催**します。(～R5年度)
- **オンライン集いの場や介護予防教室**を開催します。(～R6年度)

🛡️ 障がい者福祉

デジタル技術の活用により、豊かな生活が送れるよう外出機会の増加や各種割引の支援をします。

- **障がい者手帳のスマートホン用アプリ**を導入します。(～R4年度)
- 障がい者向けスマホ講座を開催します。(～R6年度)

🏥 医療・健康 🏥

🏥 医療

市民病院の外来業務の効率化と患者サービスの向上を図ります。

- 診察前にスマホ等で症状を入力できる**WEB型AI問診システム**を導入します。(～R7年度)

🏥 健康

市民がいつでも簡単に検診の登録・変更できるよう、利便性の向上を図ります。

- 現行の管理システムと連携した**検診予約システム**を導入します。

🚗 リニア・まちづくりなど 🎪

🚗 リニアを活かしたまちづくり

リニア開業後を見据え、市民の期待感やワクワク感を醸成します。

- リニア開業後の街並みを**VR技術等で3D映像化**し、臨場感あるイメージを市民に共有します。

🚗 地域づくり

自動運転技術の導入と新たな交通・交流拠点の創出により、リニア駅と濃飛横断、(仮)神坂スマートインターチェンジも含めた広域交通の整備効果を中心に部から離れた地域でも享受できるようにし、地域の活性化を図ります。

- ①自動運転技術の導入・運営、②予約アプリの開発、③集落内拠点の運営の実証実験一部実装に取り組みます。(～R6年度)

リニア開業を活かした二地域移住を推進し、関係人口の創出・拡大により「リニアが停まる田舎まち」をめざします。

- リモートワーク向けのワークスペースやシェアオフィス等を促進します。(～R8年度)

DX

中津川市DX推進計画では、「住民を中心に考えること」を第一とし、多様な生活スタイルに寄り添える地域社会の実現を図ることを目的とし、「**人々がかがやくまち中津川**」をめざします。

🚒 防災・消防 🚒

🚒 防災

災害発生時の効果的・迅速な被災者支援を実施し、被災者・関係部署の負担を軽減します。

- **中津川市被災者台帳システム**の整備・マニュアルの作成をします。(～R5年度)

🚒 消防

真に必要な救急活動ができるように、救急車の適正利用・応急手当の啓発・職員の事務処理効率化を進めます。

- 救急安心センター事業や全国版救急受診アプリの普及啓発
- **応急手当普及啓発システム、消防団員管理システム、消防職員の出勤管理システム**の運用開始(R5年度～)
- 消防関係申請書のシステムの運用開始(～R7年度)

👶 子育て・保育・教育 🎓

👶 子育て

病児保育所の利便性の向上を図り、利用したいときに利用しやすい施設にします。

- 病児保育所の利用予約をオンライン化し、空き状況の確認、予約申し込み、予約確定をシステム上で完結できるようにします。(～R7年度)

👶 保育

シフト勤務のルールを統一化することで、勤務体系の均一化や業務効率化を図ります。

- モデル園で「**保育士管理システム**」を導入し、保育士の勤怠管理・シフト編成等を行います(～R5年度)

🎓 教育

個人ごとに最適な学びを提供し、時間的・空間的な制約を超えた協働的な学びを実現します。また、事務処理の負担軽減を進めます。

- 児童生徒及び教員の**ICTリテラシーの向上**を進めます。
- デジタル教科書・デジタル教材を導入します。(～R7年度)

🌳 環境・産業 🌳

🌳 環境

2030年以降の早い時期に、**市役所全体での温室効果ガス排出量実質ゼロ**を実現します。

また、市役所エリアでは再生可能エネルギー等を活用し、環境にやさしいロスのないエネルギー供給を実現します。

- 公共施設における**太陽光発電技術**を導入します。
- 電気自動車と施設との電力供給システムの構築をします。
- エネルギーマネジメントシステムを導入します。

🌳 産業振興

デジタル技術を活用する市内企業の裾野を広げます。

- 企業訪問による情報収集や商工団体との連携を進め、市内企業の実態を把握します。
- 市内事業者向けに啓発活動(セミナー開催等)を実施します。
- 市内事業者の**岐阜県IoTコンソーシアムへの加入を促進**します。

🌳 農業

農業DX(スマート農業)を推進し、生産効率の向上を図ります。

- 認定農業者に対する、**農業DX(スマート農業)機械等の導入支援**を10件以上行います。(～R7年度)
- 経営所得安定対策等のオンライン申請化を実現します。

🌳 林業

相続時や売買時などに所有者変更が適切に届出できるようにします。

- 県・市のGISなど関連システムの状況を確認(～R5年度)し、業務を自動化するシステムを導入します。(R6年度～)

🌳 建設業

豪雨等の災害発生時における、現場対応業務の効率化を図ります。

- 災害等で破損・崩壊した箇所を、現場と庁舎内で相互に地図や写真で一元管理できるシステムを導入します。(～R6年度)